

「平成28年度」

公開財務情報及び事業報告

- ①財産目録
- ②貸借対照表
- ③資金収支計算書
- ④活動区分資金収支計算書
- ⑤事業活動収支計算書
- ⑥事業報告書
- ⑦監査報告書

① 財産目録

(平成29年3月31日)

(単位:千円)

I. 資産総額	8,690,029千円
内 基本財産	4,331,195千円
運用財産	4,358,834千円
収益事業用財産	0千円
II. 負債総額	805,916千円
III. 正味財産	7,884,113千円

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	
土地	26,514 m ² 915,413千円
建物	17,499 m ² 2,650,654千円
図書	20,232 冊 23,849千円
教具・校具・備品	7,789 点 217,756千円
その他	523,523千円
2. 運用財産	
現金預金	2,477,123千円
その他	1,881,711千円
3. 収益事業用財産	0千円
I. 資産総額	8,690,029千円
負債額	
1. 固定負債	
その他	244,834千円
2. 流動負債	
その他	561,082千円
II. 負債総額	805,916千円
III. 正味財産 (資産総額-負債総額)	7,884,113千円

② 貸借対照表

(平成29年3月31日)

(単位:千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	6,186,760	5,540,745	646,015
有形固定資産	4,330,765	4,083,236	247,529
土地	915,413	915,413	0
建物	2,650,654	2,756,785	△ 106,131
その他の有形固定資産	764,698	411,038	353,660
特定資産	1,644,780	1,242,690	402,090
その他の固定資産	211,215	214,819	△ 3,604
流動資産	2,503,270	2,426,586	76,684
現金預金	2,477,123	2,415,041	62,082
その他の流動資産	26,147	11,545	14,602
資産の部合計	8,690,030	7,967,331	722,699
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	244,834	242,709	2,125
長期借入金	0	0	0
その他の固定負債	244,834	242,709	2,125
流動負債	561,082	624,431	△ 63,349
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	561,082	624,431	△ 63,349
負債の部合計	805,916	867,140	△ 61,224
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	7,732,600	6,892,900	839,700
第1号基本金	6,222,600	5,782,900	439,700
第2号基本金	1,400,000	1,000,000	400,000
第4号基本金	110,000	110,000	0
繰越収支差額	151,514	207,291	△ 55,777
翌年度繰越収支差額	151,514	207,291	△ 55,777
純資産の部合計	7,884,114	7,100,191	783,923
負債及び純資産の部合計	8,690,030	7,967,331	722,699

③ 資金収支計算書

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	2,364,850	2,364,850	0
手数料収入	39,460	39,447	13
補助金収入	99,051	99,051	0
資産売却収入	343	343	0
付随事業・収益事業収入	1,300	1,300	0
受取利息・配当金収入	1,300	1,294	6
雑収入	21,431	21,355	76
前受金収入	399,750	399,750	0
その他の収入	484,273	483,479	794
資金収入調整勘定	△ 506,300	△ 506,260	△ 40
前年度繰越支払資金	2,415,041	2,415,041	0
収入の部合計	5,320,499	5,319,650	849
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,069,656	1,069,530	126
教育研究経費支出	356,808	356,572	236
管理経費支出	113,790	113,376	414
施設関係支出	377,271	377,271	0
設備関係支出	68,791	68,769	22
資産運用支出	402,090	402,090	0
その他の支出	512,775	512,771	4
資金支出調整勘定	△ 57,793	△ 57,852	59
翌年度繰越支払資金	2,477,111	2,477,123	△ 12
支出の部合計	5,320,499	5,319,650	849

④ 活動区分資金収支計算書

平成28年4月1日から

平成29年3月31日まで

(単位:千円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,364,850
		手数料収入	39,447
		経常費等補助金収入	99,051
		付随事業収入	1,300
		雑収入	21,355
		教育活動資金収入計	2,526,003
	支出	人件費支出	1,069,530
		教育研究経費支出	356,572
		管理経費支出	113,376
		教育活動資金支出計	1,539,478
		差引	986,525
		調整勘定等	△ 74,664
		教育活動資金収支差額	911,861
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備売却収入	343
		施設整備等活動資金収入計	343
	支出	施設関係支出	377,271
		設備関係支出	68,769
		第2号基金引当特定資産繰入支出	400,000
		施設整備等活動資金支出計	846,040
			差引
		施設整備等活動資金収支差額	△ 845,697
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	66,164
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	受取利息・配当金収入	1,294
		預り金受入収入	441,787
		仮払金回収収入	36,224
		その他の活動資金収入計	479,305
	支出	退職給与引当特定預金繰入支出	2,090
		預り金支払支出	442,112
		仮払金支払支出	39,184
その他の活動資金支出計		483,386	
		差引	△ 4,081
		その他の活動資金収支差額	△ 4,081
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	62,083
		前年度繰越支払資金	2,415,041
		翌年度繰越支払資金	2,477,123

⑤ 事業活動収支計算書

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

(単位:千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒納付金	2,364,850	2,364,850	0
		手数料	39,460	39,447	13
		経常費等補助金	99,051	99,051	0
		付随事業収入	1,300	1,300	0
		雑収入	21,431	21,355	76
		教育活動収入計	2,526,092	2,526,003	89
	教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算
		人件費	1,071,780	1,071,655	125
		教育研究経費	546,355	546,118	237
		管理経費	126,359	125,945	414
		教育活動支出計	1,744,494	1,743,718	776
		教育活動収支差額	781,598	782,285	△ 687
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	1,300	1,294	6
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	1,300	1,294	6
	事業活動支出の部	借入金利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	1,300	1,294	6	
		経常収支差額	782,898	783,579	△ 681
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	343	343	0
		その他の特別収入	0	0	0
		特別収入計	343	343	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	0	0
	特別収支差額	343	343	0	
		基本金組入前当年度収支差額	783,241	783,922	△ 681
		基本金組入額合計	△ 839,699	△ 839,699	0
		当年度収支差額	△ 56,458	△ 55,777	△ 681
		前年度繰越収支差額	207,291	207,291	0
		翌年度繰越収支差額	150,833	151,514	△ 681
		(参考)			
		事業活動収入計	2,527,735	2,527,641	94
		事業活動支出計	1,744,495	1,743,719	776

⑥事業報告書

1. 法人の概要

1. 学校法人の沿革

大正 7年	城西実務学校設立
昭和 26年	学校法人城西学園へ組織変更
昭和 59年 4月	城西医療技術専門学校（診療放射線学科）設立
平成 8年 4月	城西医療技術専門学校に理学療法学科開設
平成 11年 4月	城西医療技術専門学校に作業療法学科開設
平成 15年 8月	学校法人埼玉城西学園設立 城西医療技術専門学校（3学科）を移管
平成 18年 11月	学校法人城西医療学園に組織変更、日本医療科学大学設立認可
平成 19年 4月	日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科・リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）開設
平成 21年 3月	城西医療技術専門学校閉校
平成 24年 4月	日本医療科学大学 看護学科・臨床工学科 開設

2. 設置する学校・課程・学科・入学定員・学生数の状況（平成 29年 5月 1日現在）

学校名 (所在地)	学部・学科名等	開設 年度	入学 定員	収容 定員	29年度 定員	在籍人員	
						男子	女子
日本医療科学大学 (埼玉県入間郡毛呂山町)	保健医療学部	H19	320	1,280	1,280	1494	694
	診療放射線学科	H19	80	320	320	410	177
	リハビリテーション学科	H19	120	480	480	535	194
	<理学療法学専攻>	<H19>	<80>	<320>	<320>	<367>	<110>
	<作業療法学専攻>	<H19>	<40>	<160>	<160>	<168>	<84>
	看護学科	H24	80	320	320	359	282
	臨床工学科	H24	40	160	160	190	41

3. 役員（平成 29年 5月 1日現在）

8名；理事6名（うち、理事長1名）、監事2名

4. 教職員（平成 29年 5月 1日現在）

学長	副学長	学部長	診療放射線学科	リハビリテーション学科		看護学科	臨床工学科	医療・基礎教育科	専任教員計	事務職員	兼任教員計	総合計
				理学療法学専攻	作業療法学専攻							
1	0	1	8	10	8	28	8	10	74	41	118	233
(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	(2)	(25)	(0)	(2)	(32)	(20)	(27)	(79)

下段の（ ）は女性

5. 入学試験の概要

年度	診療放射線 学科		リハビリテーション学科				看護学科		臨床工学科		合計	
	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数
29 年度	532 (197)	99 (47)	309 (87)	87 (27)	147 (70)	43 (21)	375 (289)	93 (78)	223 (75)	51 (13)	1,586 (718)	373 (186)
28 年度	675 (262)	96 (42)	309 (86)	99 (28)	133 (54)	38 (16)	289 (221)	98 (80)	288 (96)	53 (14)	1,694 (719)	384 (180)
27 年度	597 (167)	96 (40)	410 (101)	97 (28)	170 (79)	50 (30)	367 (280)	88 (66)	266 (66)	45 (10)	1,810 (693)	376 (174)
26 年度	574 (173)	101 (43)	420 (136)	97 (26)	189 (70)	49 (25)	346 (238)	88 (67)	172 (39)	45 (5)	1,701 (656)	380 (166)
25 年度	787 (273)	93 (41)	440 (116)	100 (29)	191 (85)	46 (24)	363 (248)	93 (67)	268 (79)	45 (13)	2,049 (801)	377 (174)
24 年度	816 (250)	95 (37)	416 (111)	96 (33)	180 (61)	49 (19)	385 (293)	105 (81)	231 (64)	54 (10)	2,028 (781)	399 (180)

下段の（ ）は女子学生

6. 平成28年度 卒業・就職等の状況

	4年次 在籍 者数	卒業 生数	留年 者数	退学 者数	休学 者数	進学 者数	国家試験 合格者数	合格率 (%) <※>	平均合格率 新卒平均 (%)	合格者 就職者数	本学既卒 不合格者数 [累計]
診療放射線学科	106 (46)	82 (39)	18 (3)	6 (4)	0 (0)	0 (0)	81 (38)	98.8 (97.4)	85.4 96.0	75 (38)	1 [31]
リハビリテーション 学科	133 (47)	120 (43)	12 (4)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	101 (38)	84.1 (88.4)		97 (37)	19 [35]
理学療法学 専攻	86 (25)	79 (22)	6 (3)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	78 (22)	98.7 (100)	90.3 96.3	75 (22)	1 [7]
作業療法学 専攻	47 (22)	41 (21)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (16)	56.1 (76.2)	83.7 90.5	22 (15)	18 [28]
看護学科	90 (66)	89 (65)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	85 (62)	95.5 <83.3> (95.4)	88.5 94.3	84 (62)	4 [4]
臨床工学科	43 (12)	39 (11)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (8)	87.2 (72.7)	81.9 91.1	30 (8)	5 [5]

下段の（ ）は女子学生。<※>看護学科合格率（上段；看護師、中段；保健師）

2. 平成28年度事業の概要

1 教学部門強化に向けた取り組み

- (1) 平成28年度の国家試験については、年度の早い段階から国家試験対策教材を使用した補講、模擬テストの実施、成績不良者に対する個別指導、夏季・春季等の長期休暇を含め休日における補講と自習、既卒生に対する特別クラスの編成など通常の補習授業など手厚い指導を行なったが、結果には少々ばらつきが出た。今年度以降課題を整理し次回に繋げたい。
- (2) AO入試・推薦入試合格者を対象に、入学予定者に対し入学前の12月にウォーミングアップセミナーや入学前課題を実施し基礎学力の強化を行った。入学後は新入生全員に対し1泊2日（4月6日～7日）のフレッシュマンセミナーを実施し、大学生活のガイダンスを行うとともに学生間の交流を図った。
- (3) 平成26年度よりスタートした基礎学力向上のための総合学習支援は、学生個人のポテンシャルを発揮させ真の専門力と臨床実践力を習得した医療人を輩出するため、医療・基礎教育科において個別指導や各種セミナーの開講など学生サポートを行った。
- (4) 平成28年度も、全学的な特別講義として青島健太客員教授の特別講演会を実施した。（5月16日）

2 学生募集

2018年問題が本格化する中、文部科学省による新たな選抜方式（入試改革）所謂2020年問題が動き始めた。これは推薦・AO入試の発展形と言っても過言ではなく、今後もこの傾向は加速するとみられている。これらを見据え平成28年度も早い段階から職員による高校へのアプローチ推進および各種進学説明会への積極的な参加により、入学者の招致に尽力してきた。加えて、オープンキャンパスによる高校生の招致、ホームページの内容の充実等により、学生募集に傾注した。その結果、全学科で1,586名の志願者を獲得し373名の新入生を迎えることができた。学科ごとの内訳としては、診療放射線学科99名（定員80名）、リハビリテーション学科理学療法学専攻87名（定員80名）、作業療法学専攻43名（定員40名）、看護学科は93名（定員80名）、臨床工学科は51名（定員40名）と何れも多くの新入生を迎えることができた。

3 就職支援の充実

今年、就職活動を行う学生にとって「売り手市場」などと言われ始めてはいるものの、現実には厳しいと指摘されるなか、本学においては「就活ZERO宣言」も次第に定着し、

学生が国家試験に対して周到に準備出来る学習環境を確保し、円滑な就職活動を可能にする体制構築に推進した結果、対象学生については概ね就職が内定した。具体的な施策は以下の通り。

- (1) 平成 27 年度に引き続き、全国各地の医療施設採用担当者の参加による求人説明会を、「東京国際フォーラム」にて大々的に開催した。今年度の施設数は、これまでの 375 施設 644 人から 421 施設 660 人に増加し、参加する学生も前回同様 4 年生に加え 3 年生が参加し成功裏に実施できた。これにより学生は、早い段階から就職への意識浸透と 421 施設への興味を醸成できた。(8 月 25 日)
- (2) 学生が就活最前線に挑む前段階で、将来より良い医療従事者となるための心構えや面接時の留意点などについて、外部講師招聘による解説、加えて模擬面接も行う就職セミナーを実施した。(4 月 7 日)
- (3) 就職支援センターに常駐の職員を配置し、求人票の閲覧や就職相談や履歴書の書き方の相談等も日常的に行った。更には全国の医療施設に対する個別の訪問を行う職員及びハローワークからの派遣職員を置き、情報の円滑な開示を行った。

東京国際フォーラムでの 求人説明会の様子



(4) 平成 28 年度の求人数は以下の通りであった。

診療放射線学科	求人施設数	1,157 施設	求人数	2,506 人
理学療法学専攻	"	1,882 施設	"	14,119 人
作業療法学専攻	"	1,962 施設	"	12,581 人
看護学科	"	1,154 施設	"	7,584 人
臨床工学科	"	656 施設	"	1,687 人

(5) 主な就職先は以下のとおりである。

①診療放射線学科 (70 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
北海道	旭川医科大学	埼玉県	堀ノ内病院
青森県	むつ総合病院	埼玉県	益子病院
岩手県	岩手県立病院	埼玉県	三郷中央総合病院
岩手県	いわて健康管理センター	埼玉県	メディカルピア草加病院
秋田県	秋田県厚生農業協同組合連合会	千葉県	愛友会記念病院
山形県	山形県病院事業局県立病院課	千葉県	玄々堂君津病院
山形県	山形済生病院	千葉県	国立がん研究センター東病院
福島県	福島県厚生農業協同組合連合会	千葉県	さんむ医療センター
福島県	北福島医療センター	千葉県	新松戸中央総合病院
福島県	須賀川病院	千葉県	千葉愛友記念病院
栃木県	上都賀総合病院	千葉県	銚子市立病院
群馬県	くすの木病院	千葉県	船橋総合病院
群馬県	本島総合病院	千葉県	順天堂大学医学部附属浦安病院
埼玉県	イムス富士見総合病院	東京都	イムス葛飾ハートセンター
埼玉県	イムス三芳総合病院	東京都	大森赤十字病院
埼玉県	春日部市立医療センター	東京都	亀有病院
埼玉県	春日部中央総合病院	東京都	江東病院
埼玉県	北里大学メディカルセンター	東京都	公立昭和病院
埼玉県	熊谷総合病院	東京都	新葛飾病院
埼玉県	埼玉医科大学病院	東京都	聖路加国際病院
埼玉県	埼玉協同病院	東京都	高島平中央総合病院
埼玉県	埼玉県病院局	東京都	東京北医療センター
埼玉県	さいたま赤十字病院	東京都	東京警察病院
埼玉県	埼玉石心会病院	東京都	東京城東病院
埼玉県	白岡中央総合病院	東京都	東京都済生会中央病院
埼玉県	新久喜総合病院	東京都	東部地域病院
埼玉県	新座志木中央総合病院	東京都	豊島病院
埼玉県	飯能中央病院	東京都	練馬光が丘病院

診療放射線学科（続き）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
東京都	東大和病院	神奈川県	相模野病院
東京都	日本大学医学部附属板橋病院	神奈川県	相模原病院
東京都	日本医科大学付属病院	神奈川県	横須賀共済病院
東京都	立川病院	神奈川県	横浜旭中央総合病院
東京都	メディカルスキャニング	神奈川県	横浜新都市脳神経外科病院
東京都	新城医院	神奈川県	秦野赤十字病院
神奈川県	小澤病院	長野県	相澤病院

②リハビリテーション学科 理学療法学専攻（61 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
宮城県	石巻ロイヤル病院	埼玉県	飯能靖和病院
福島県	南東北福島病院	埼玉県	光の家療育センター
福島県	常磐病院	埼玉県	リハビリテーション天草病院
茨城県	北水会記念病院	埼玉県	株式会社 C Cube Create
茨城県	志村大宮病院	埼玉県	西大宮病院
栃木県	リハビリテーション花の舎病院	埼玉県	丸木記念福祉メディカルセンター
群馬県	石井病院	埼玉県	平成の森川島病院
群馬県	内田病院	埼玉県	介護老人保健施設 富士見の里
群馬県	館林記念病院	埼玉県	埼玉協同病院
群馬県	榛名荘病院	千葉県	銚子市立病院
埼玉県	三郷中央総合病院	千葉県	季美の森リハビリテーション病院
埼玉県	八潮中央総合病院	千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター
埼玉県	吉川中央総合病院	千葉県	船橋市立リハビリテーション病院
埼玉県	埼玉セントラル病院	千葉県	船橋整形外科病院
埼玉県	埼玉石心会病院	東京都	等潤病院
埼玉県	大宮中央総合病院	東京都	尾山台整形外科東京関節鏡センター
埼玉県	春日部厚生病院	東京都	板橋中央総合病院
埼玉県	霞ヶ関南病院	東京都	東京腎泌尿器センター大和病院
埼玉県	上柴クリニック	東京都	明理会中央総合病院
埼玉県	熊谷総合病院	東京都	南多摩病院
埼玉県	圏央所沢病院	東京都	江東リハビリテーション病院
埼玉県	塩味病院	東京都	日本赤十字社医療センター
埼玉県	西部総合病院	東京都	日本大学医学部附属板橋病院
埼玉県	秩父第一病院	東京都	上板橋病院
埼玉県	所沢リハビリテーション病院	東京都	三軒茶屋第一病院
埼玉県	所沢ロイヤル病院	東京都	中野共立病院
埼玉県	富家病院	東京都	ねりま健育会病院

理学療法学専攻（続き）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
東京都	初台リハビリテーション病院	長野県	諏訪赤十字病院
東京都	大泉生協病院	長野県	雨宮病院
神奈川県	新百合ヶ丘総合病院	岡山県	玉野市立玉野市民病院
長野県	富士見高原病院		

③リハビリテーション学科 作業療法学専攻（24 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
群馬県	たけむら整形外科クリニック	埼玉県	笠幡病院
群馬県	日高病院	埼玉県	原田病院
埼玉県	イムス富士見総合病院	埼玉県	明生リハビリテーション病院
埼玉県	イムス三芳総合病院	東京都	日本大学医学部附属板橋病院
埼玉県	春日部ロイヤルケアセンター	東京都	青梅慶友病院
埼玉県	朝霞台中央総合病院	東京都	ねりま健育会病院
埼玉県	新座志木中央総合病院	東京都	羽村三慶病院
埼玉県	埼玉医科大学病院	東京都	神谷病院リハビリテーションセンター
埼玉県	上武病院	神奈川県	横浜なみきりリハビリテーション病院
埼玉県	霞ヶ関南病院	山梨県	湯村温泉病院
埼玉県	埼玉よりい病院	静岡県	池辺クリニック
埼玉県	トワーム小江戸病院	長野県	JA 長野厚生連 鹿教湯病院グループ

④看護学科（50 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
茨城県	筑波大学附属病院	埼玉県	埼玉県立小児医療センター
茨城県	つくばセントラル病院	埼玉県	さいたま赤十字病院
栃木県	佐野厚生総合病院	埼玉県	埼玉石心会病院
群馬県	群馬県済生会前橋病院	埼玉県	埼玉医科大学病院
埼玉県	上尾中央総合病院	埼玉県	自治医科大学附属さいたま医療センター
埼玉県	彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県	埼玉医科大学総合医療センター
埼玉県	イムス富士見総合病院	埼玉県	入間川病院
埼玉県	イムス三芳総合病院	埼玉県	みさと健和病院
埼玉県	埼玉メディカルセンター	千葉県	順天堂大学浦安病院
埼玉県	TMG 宗岡中央病院	東京都	公立昭和病院
埼玉県	朝霞台中央総合病院	東京都	多摩北部医療センター
埼玉県	埼玉協同病院	東京都	東京警察病院
埼玉県	川口市立医療センター	東京都	東京都健康長寿医療センター

看護学科（続き）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
東京都	東京都立大塚病院	東京都	昭和大学病院
東京都	東京都立小児総合医療センター	東京都	池上総合病院
東京都	東京都立広尾病院	東京都	東京臨海病院
東京都	東京都立墨東病院	東京都	三井記念病院
東京都	東京都済生会中央病院	東京都	吉祥寺病院
東京都	大森赤十字病院	神奈川県	横浜労災病院
東京都	武蔵野赤十字病院	神奈川県	昭和大学病院藤が丘病院
東京都	慶應義塾大学病院	山梨県	山梨赤十字病院
東京都	順天堂大学医学部附属順天堂医院	新潟県	新潟市民病院
東京都	東京医科大学病院	新潟県	長岡赤十字病院
東京都	日本医科大学付属病院	新潟県	新潟白根総合病院
東京都	東京医科大学 八王子医療センター	静岡県	静岡県立総合病院

⑤臨床工学科（29 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
福島県	竹田総合病院	埼玉県	所沢ハートセンター
茨城県	勝田病院	埼玉県	関越病院
茨城県	友愛記念病院	埼玉県	済生会栗橋病院
栃木県	黒須病院	埼玉県	彩の国大宮メディカルセンター
栃木県	菅間記念病院	埼玉県	ヤオコー
群馬県	前橋赤十字病院	東京都	大崎病院 東京ハートセンター
群馬県	日高病院	東京都	総合東京病院
群馬県	善衆会病院	東京都	東京腎泌尿器センター大和病院
群馬県	せせらぎ病院	東京都	河北総合病院
埼玉県	蓮田一心会病院	神奈川県	茅ヶ崎市立病院
埼玉県	上尾中央総合病院	神奈川県	東名厚木病院
埼玉県	さいたま市立病院	神奈川県	新百合ヶ丘総合病院
埼玉県	深谷赤十字病院	長野県	佐久総合病院
埼玉県	秩父第一病院	長野県	下伊那厚生病院
埼玉県	熊谷総合病院		

4 学生支援の継続

年度の初めに実施される新入生歓迎会を皮切りに、学生が自主的に運営する夏のよさこい、クラス単位での茶話会、臨床実習前後の激励会や反省会、国家試験前の決起集会、大樹祭でのイベント実施など平成 28 年度も多くの学生支援行事を行った。



坂戸よさこいの様子



スポーツデイの様子



大樹祭の様子

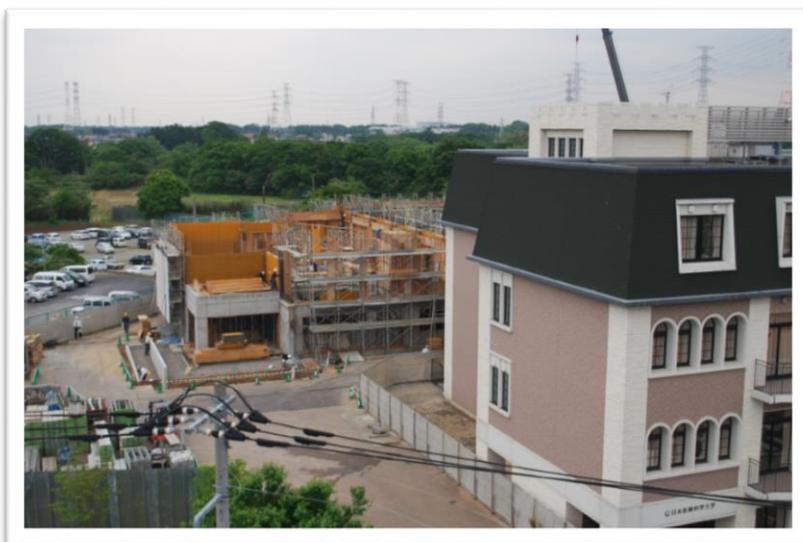


5 施設・設備の拡充及び補修

学生満足度向上のために、開学以来、計画的に教育施設の拡充を実行してきた。平成 24 年の 4 号棟建設、平成 25 年度の 1 号棟南側の中庭改修及び裏門設置に続き、平成 27 年度に本部棟が完成した。今年度は学生の福利厚生環境充実を目的に体育館・学生会館の竣工に向け進行中。

- (1) 体育館・学生会館に着手
- (2) 1 号棟 1 階正面の学生休憩エリアへの改修
- (3) 教育研究備品の購入（三次元動作分析装置他）

(1) ①基礎工事が進む体育館



② 4 号棟の前に建設中の学生会館



完成予想図



(2) 1号棟1F旧事務所跡に設けられた学生休憩エリア



1号棟の正面玄関を改装し
学生が集まる明るい空間になりました



(3) 教育研究備品の購入

診療放射線学科



- ・血液循環器系人体模型
- ・装着式採血静注練習キット
- ・下部消化管模型 他一式

理学療法学専攻



- ・ワールプール (左)
- ・オンパーAT2 上下肢



- ・三次元動作分析装置

作業療法学専攻



・エクササイズミラー



・スイングサポートフレーム



・スタンディングテーブル



・トランポリン



・ボールプール

看護学科



・アストリム（ヘモグロビン量測定器）



・妊婦外診モデルフルセット

臨床工学科



・人工呼吸器



・筋電図誘発電位装置検査
（医療・基礎科と合同申請）

6 教育改革予算（学長特別研究費）実績

平成 28 年度の教育改革の学長特別研究費で計上し実施した研究は下記の 9 項目。

● テーマ	部署・担当	予算額	実績
● 遺伝子発見解析と教育への応用	医療・基礎教育科 鈴木 研太 助教	¥1,500,000	¥1,499,040
● 高大連携教育事業(生物)の開発に向けた 調査・研究・実践	医療・基礎教育科 鈴木 研太 助教	¥300,000	¥236,033
● ガン細胞の増殖を抑制する新物質の検索（継続：第二段階）	医療・基礎教育科 吉村 和法 助教	¥1,970,000	¥1,919,124
● NIMS グローバル・プロジェクト	医療・基礎教育科 天野 修司 助教	¥500,000	¥268,548
● 高齢者疑似体験装具における身体的負荷量に関する検討	看護学科 小山 英子 教授	¥1,736,000	¥1,204,619
● 看護師の臨床実践能力の熟練度による臨床行動の相違に関する検討	看護学科 土屋 守克 講師	¥300,000	¥266,303
● 脳機能とリハビリテーションプロジェクト ～領域横断的調査研究と教育への応用～	看護学科 滝沢 隆 助教	¥500,000	¥90,125
● 頭部血管造影検査教育及び研究システムの開発	診療放射線学科 桑山 潤 教授	¥662,383	¥11,560
● 福島原発事故による埼玉県内地域の線量測定・解析及び線量マップ作成	診療放射線学科 齊藤 享子 准教授	¥950,000	¥0
	合計	¥8,418,383	¥5,495,352

7 広報活動の推進

(1) 高校生の注目度の高いAO入試や推薦入試の受験傾向が高まるなか、受験生をオープンキャンパスへ招致することは志願者を増やすうえで有効な行事の一つである。こうした観点から、平成28年度も9回のオープンキャンパスを実施し結果として1,128名の参加者があった。また、平成29年1月に入試直前相談会を実施し出願に繋げることができた。

オープンキャンパスの様子



看護学科

作業療法学専攻



相談会の様子



(2) 学外での進路ガイダンスや高校での模擬授業、生徒を本学に招致し大学での授業の見学や施設案内なども積極的に行った。

訪問した高校の数は、埼玉県内 152 校、埼玉県を除く関東地区 186 校、東北地区 120 校、その他の地区で 190 校であり、高校主催の進路相談会及び業者による進学説明会には 108 の会場に参加した。

(3) 在学生の保護者向けの広報活動としては、ホームページの内容充実に加え、大学の広報誌「大樹の礎」を引き続き発行し、大学の様子や行事の模様を伝えるために送付した。

8 研究部門の充実

研究活動として紀要委員会より「日本医療科学大学研究紀要」第 9 号が発行された。また、科学研究費補助金の申請は 8 件であった。

9 海外研修制度の充実（サマープログラム 2016 オレゴン研修）

国際交流研究センターの主導により、本学の教育目標の一つである「国際化社会に対応する医療従事者の養成」を目的とした海外研修（NIMS サマープログラム）も6年目を迎えることとなった。研修地は米国オレゴン州ポートランド。参加した本学の学生は国際感覚修得と海外の医療を体験するなど十分な成果を挙げている特に今回は、初のプログラム『Concordia Univ.』での研修を行い、学生間の交流を図った。平成28年度の研修は学生35名、教員2名、職員1名、総勢38名が参加し、先端医療、高齢者ケア、保健医療システムの実際を見学した。（9月6日～12日）



10 国際学術提携の推進

学生の海外研修を充実させる一方で、学術提携も進んでいる。平成28年度は台湾、ベトナム、フィリピン、中国の4か国と国際学術交流を深め、先方学生の本学への招聘や現地への本学学生の派遣による学会発表など着実に成果を上げている。具体的には以下の通り。

- 平成28年 5月 台湾 The 8th International Academic Conference 2016 学会
- 平成28年 6月 アメリカ Allen Buzzard 様 Shin-Lin Shen 様 来学
- 平成28年 6月 ベトナム Akira Education<*1>生徒 来学
- 平成28年 9月 ベトナム ドンナイ技術大学訪問
- 平成28年12月 中国 浙江工商大学<*2>、北方工業大学 大学生・大学院生来学
- 平成28年12月 フィリピン Manila Adventist College<*3> 教職員来学
- 平成29年 3月 台湾 第50回中華民国医事放射学会学術大会に参加
中臺科技大学技術大学 訪問

<*1> Akira Education

6歳～14歳の子どもたちや中高大学生・会社員が日本語を学ぶ教育機関です。日本への留学や日本の会社で働くためのサポートをしている。

<*2> 浙江工商大学

47の学部専攻学科を設置しており、そのうち6つの専門分野は省級重点学科である。百年近い歴史があり、約2万5千人の学生が在籍。ビジネス教育に定評がある大学。

<*3> Manila Adventist College

マニラ アドベンティストカレッジは、看護師、放射線技師、理学療法士養成のプログラムを有する。



Philippines



Vietnam

11 学位記授与式の実施

平成 28 年度の「学位記授与式」を 3 月 10 日に川越プリンスホテルにおいて行った。今回は、診療放射線学科 82 名、リハビリテーション学科理学療法学専攻 79 名、作業療法学専攻 41 名に、看護学科 89 名と臨床工学科 39 名が卒業し、合計 330 名が巣立っていった。



3. 財務の概要

財務データの経年比較

◆◆資金収支計算書◆◆

(単位；千円)

収 入 の 部				
科 目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
学生生徒等納付金収入	2,028,950	2,195,075	2,346,850	2,364,850
手数料収入	41,074	42,459	41,358	39,447
補助金収入	67,649	45,247	40,195	99,051
資産売却収入	0	75	2,251	343
付随事業・収益事業収入	4,300	1,400	1,300	1,300
受取利息・配当金収入	926	1,361	2,211	1,294
雑収入	12,495	19,801	9,549	21,355
前受金収入	487,500	483,500	489,500	399,750
その他の収入	470,495	486,456	509,644	483,479
資金収入調整勘定	△ 485,149	△ 502,862	△ 489,196	△ 506,259
前年度繰越支払資金	1,911,334	2,589,622	3,134,740	2,415,041
収入の部合計	4,539,574	5,362,134	6,088,402	5,319,651

支 出 の 部				
科 目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
人件費支出	922,834	980,910	994,092	1,069,530
教育研究経費支出	314,712	319,334	378,544	356,572
管理経費支出	100,768	145,581	158,241	113,376
借入金等利息支出	5,198	0	0	0
借入金等返済支出	86,640	0	0	0
施設関係支出	51,760	297,193	486,445	377,271
設備関係支出	38,775	49,822	90,888	68,769
資産運用支出	5,650	14,200	1,028,440	402,090
その他の支出	461,575	505,079	567,206	512,771
資金支出調整勘定	△ 37,960	△ 84,725	△ 30,495	△ 57,851
翌年度繰越支払資金	2,589,622	3,134,740	2,415,041	2,477,123
支出の部合計	4,539,574	5,362,134	6,088,402	5,319,651

◆◆事業活動収支計算書◆◆

(単位；千円)

科 目		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
教育活動 収入	学生生徒等納付金	2,028,950	2,195,075	2,346,850	2,364,850	
	手数料	41,074	42,459	41,358	39,447	
	経常費等補助金	67,649	45,247	40,195	99,051	
	付随事業収入	4,300	1,400	1,300	1,300	
	雑収入	12,495	19,801	9,549	21,355	
	教育活動収入計①	2,154,468	2,303,982	2,439,252	2,526,003	
	教育活動 支出	人件費	927,692	995,020	1,022,459	1,071,655
		教育研究経費	470,898	475,659	558,882	546,119
		管理経費	109,854	153,351	168,389	125,945
		教育活動支出計②	1,508,444	1,624,030	1,749,730	1,743,719
A.教育活動収支差額 ①-②		646,024	679,952	689,522	782,284	
教育活動 外収入	受取利息・配当金	926	1,361	2,211	1,294	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
	教育活動外収入計③	926	1,361	2,211	1,294	
	教育活動 外支出	借入金等利息	5,198	0	0	0
その他の教育活動外支出		0	0	0	0	
教育活動外支出計④		5,198	0	0	0	
B.教育活動外収支差額 ③-④		△ 4,272	1,361	2,211	1,294	
経常収支差額 A + B		641,752	681,313	691,733	783,579	
特別 収入	資産売却差額	0	75	0	343	
	その他の特別収入	0	0	0	0	
	特別収入計⑤	0	75	0	343	
	特別 支出	資産処分差額	0	2,324	1,116	0
その他の特別支出		0	0	0	0	
特別支出計⑥		0	2,324	1,116	0	
特別収支差額 ⑤ - ⑥		0	△ 2,249	△ 1,116	343	
基本金組入前当年度収支差額		641,752	679,064	690,617	783,922	
基本金組入額合計		△ 74,087	△ 323,331	△ 1,580,987	△ 839,699	
当年度収支差額		567,665	355,733	△ 890,370	△ 55,777	
前年度繰越収支差額		174,264	741,928	1,097,661	207,291	
翌年度繰越収支差額		741,928	1,097,661	207,291	151,514	
(参考)						
事業活動収入計		2,155,394	2,305,418	2,441,463	2,527,641	
事業活動支出計		1,513,642	1,626,354	1,750,847	1,743,719	

◆◆貸借対照表◆◆

(単位；千円)

資産の部				
科 目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
固定資産	3,934,032	4,128,827	5,540,745	6,186,760
有形固定資産	3,530,050	3,696,153	4,083,236	4,330,765
特定資産	200,050	214,250	1,242,690	1,644,780
その他の固定資産	203,932	218,424	214,819	211,215
流動資産	2,610,255	3,153,073	2,426,586	2,503,270
資産の部合計	6,544,287	7,281,900	7,967,331	8,690,030

負債の部				
科 目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
固定負債	200,233	214,342	242,709	244,834
流動負債	613,544	657,983	624,431	561,082
負債の部合計	813,777	872,325	867,140	805,916

純資産の部				
科 目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
基本金	4,988,582	5,311,913	6,892,900	7,732,599
繰越収支差額	741,928	1,097,661	207,291	151,514
純資産の部合計	5,730,510	6,409,574	7,100,191	7,884,113
負債及び純資産の部合計	6,544,287	7,281,900	7,967,331	8,690,030

⑦ 監査報告書

監査報告書

平成 29年 5月 19日

学校法人 城西医療学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事

岡本 与志昭



監事

中林 正則



私たちは、学校法人城西医療学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて、同学園の平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会、評議員会等に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実行しました。監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務及び財産に関し、不整の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

以上